

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の安来市の概要について

安来市教育委員会 学校教育課

令和6年4月18日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果について、本市の概要をお知らせします。

1 調査の概要

○調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立つ。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○調査の対象

◇小学校第6学年：国語・算数 ◇中学校第3学年：国語・数学

※全体の平均正答率は整数値にて公表されています。よって、各教科における全体の結果については全国との差に誤差(四捨五入の関係による)が生じることから、表示はしておりません。

2 安来市の状況

(1)教科の概要

〈小学校6年生〉

∴概要 ○:成果 ▲:課題

【国語】

・全体として、全国平均並みでした。

○我が国の言語文化に関する事項の「読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくこと」については正答率が高くなっています。

○「目的や意図に応じて、自分の考えをまとめること」や「文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめること」などの記述式の正答率は、全国と比べると高くなっています。

○無解答率が全国平均をやや下回っています。

▲「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」や「資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫することができること」に課題がみられます。

▲「読むこと」は、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉えることにやや課題が見られました。

【算数】

・全体として、全国平均より少し下回りました。

○「問題場面を捉え、数量関係を式に表したり、答えを求めたりすること」はできています。

○「直方体の辺の長さや位置関係に着目し、見取り図をかくこと」はできています。

▲道のりと時間の二つの量の関係で表される速さなど、二つの量の割合としてとらえられる数量について理解し、説明することに課題が見られました。

▲表やグラフから必要な数値を読み取り、複数の条件に当てはまることを言葉と数を用いて全て記述することに課題が見られました。

【国語】

| 区分 | 対象問題数 | 平均正答率(%) | | | 全国との差 |
|------------------------|-------|----------|---------|--------|--------|
| | | 安来市 | 島根県(公立) | 全国(公立) | |
| | 14 | 68 | 67 | 67.7 | |
| (1)言葉の特徴や使い方に 関する事項 | 4 | 66.8 | 64.0 | 64.4 | 2.4 ○ |
| (2)情報の扱い方に関する 事項 | 1 | 85.4 | 86.1 | 86.9 | -1.5 △ |
| (3)我が国の言語文化に関 する事項 | 1 | 79.6 | 75.3 | 74.6 | 5.0 ◎ |
| 話すこと・聞くこと | 3 | 55.8 | 57.3 | 59.8 | -4.0 ▲ |
| 書くこと | 2 | 70.5 | 67.5 | 68.4 | 2.1 ○ |
| 読むこと | 3 | 69.0 | 69.0 | 70.7 | -1.7 △ |

【算数】

| 区分 | 対象問題数 | 平均正答率(%) | | | 全国との差 |
|----------|-------|----------|---------|--------|--------|
| | | 安来市 | 島根県(公立) | 全国(公立) | |
| | 16 | 61 | 61 | 63.4 | |
| A 数と計算 | 6 | 64.3 | 63.5 | 66.0 | -1.7 △ |
| B 図形 | 4 | 64.4 | 64.5 | 66.3 | -1.9 △ |
| C 測定 | 0 | | | | |
| C 変化と関係 | 3 | 46.3 | 46.0 | 51.7 | -5.4 ▲ |
| D データの活用 | 4 | 61.4 | 60.2 | 61.8 | -0.4 △ |

※安来市の平均正答率を全国平均に対して、差が
+3ポイント以上を◎
0~+3ポイント未満を○
0~-3ポイント未満を△
-3ポイント以下を▲

【国語】

・全体の正答率は、全国並みでした。

○「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を大きく上回りました。行書の特徴についてはよく理解できています。

○既習の漢字の読み書きについてはよく理解できています。

○「書くこと」の問題に改善が見られました。

△「読むこと」では、文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することや短歌の内容について描写を基に捉えることに課題が見られました。

△表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書くことに課題が見られました。

【数学】

・全体の正答率は、全国よりやや下回りました。

○「数と式」では、基本的な加法の計算はできていました。

△記述式の問題は改善が見られるものの、依然として課題が見られます。

△「数と式」において、文字式を用いた式で表すことや、目的に応じて変形して解く問題について課題が見られました。

△「関数」の基本的な意味理解には改善が見られるが、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについては課題が見られました。

【国語】

| 区分 | 対象問題数 | 平均正答率(%) | | | 全国との差 | |
|------------------------|-------|----------|---------|--------|-------|---|
| | | 安来市 | 島根県(公立) | 全国(公立) | | |
| | 15 | 58 | 57 | 58.1 | | |
| (1)言葉の特徴や使い方に 関する事項 | 3 | 57.6 | 57.2 | 59.2 | -1.6 | △ |
| (2)情報の扱い方に関する 事項 | 2 | 60.4 | 58.5 | 59.6 | 0.8 | ○ |
| (3)我が国の言語文化に関 する事項 | 1 | 81.3 | 79.4 | 75.6 | 5.7 | ◎ |
| 話すこと・聞くこと | 3 | 58.5 | 56.2 | 58.8 | -0.3 | △ |
| 書くこと | 2 | 65.4 | 63.4 | 65.3 | 0.1 | ○ |
| 読むこと | 4 | 45.6 | 46.2 | 47.9 | -2.3 | △ |

【数学】

| 区分 | 対象問題数 | 平均正答率(%) | | | 全国との差 | |
|----------|-------|----------|---------|--------|-------|---|
| | | 安来市 | 島根県(公立) | 全国(公立) | | |
| | 16 | 50 | 49 | 52.5 | | |
| A 数と式 | 5 | 45.3 | 45.1 | 51.1 | -5.8 | ▲ |
| B 図形 | 3 | 39.1 | 37.7 | 40.3 | -1.2 | △ |
| C 関数 | 4 | 59.5 | 58.3 | 60.7 | -1.2 | △ |
| D データの活用 | 4 | 53.6 | 52.6 | 55.5 | -1.9 | △ |

※安来市の平均正答率を全国平均に対して、差が
+3ポイント以上を◎
0~+3ポイント未満を○
0~-3ポイント未満を△
-3ポイント以下を▲

(2)学習や生活の様子(児童生徒質問・学校質問調査より)

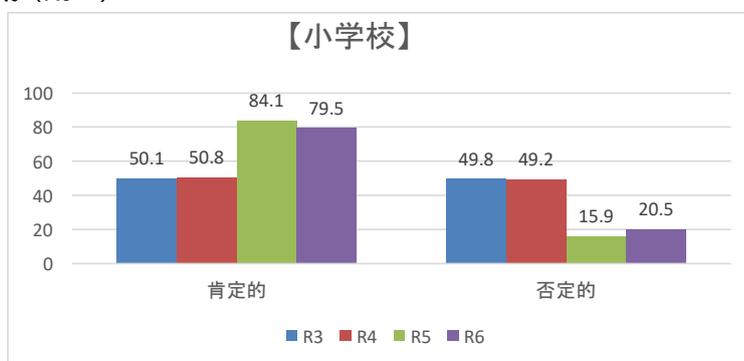
<小学校6年生>

【全国と安来市との比較で特徴的な項目】(全国平均との差)

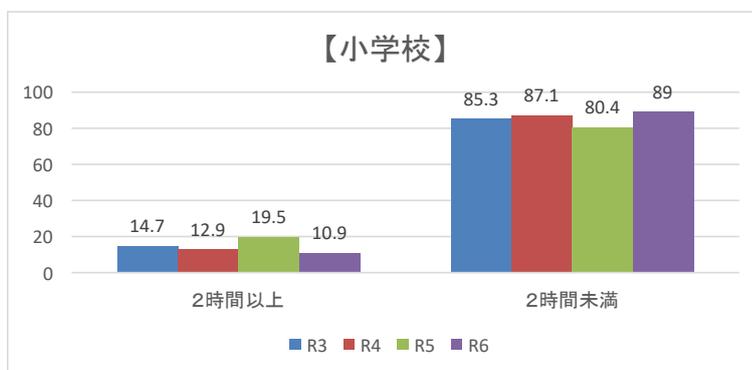
| | |
|-----|---|
| 小学校 | 肯定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異が見られるもの) |
| | ◎5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。週3回以上の使用の割合(+7.2) |
| | ◎5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができましたか。(+5.2) |
| | ◎5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と協力しながら学習を進めることができましたか。(+3.7) |
| | 否定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの) |
| | ◎英語の勉強は好きですか。(-10.6) |
| | ◎国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか。(-9.4) |
| | ◎算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。(-8.1) |

【学校・地域・家庭に関わる項目】(過去4年の経年比較・ICT機器活用についてはR4年度より3年間)

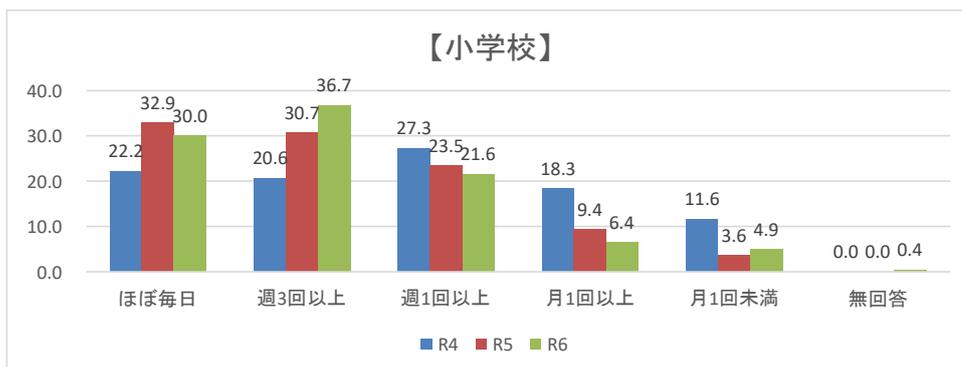
○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(～R4)地域や社会をよくするために何かしてみたいとおもいますか(R5～)



○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



(2) 学習や生活の様子(児童生徒質問・学校質問調査より)

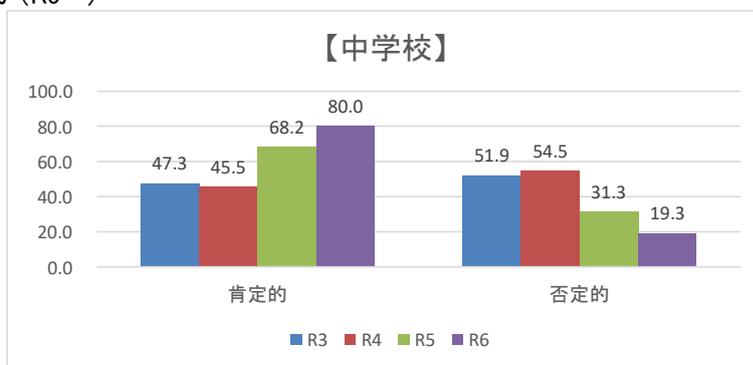
< 中学3年生 >

【全国と安来市との比較で特徴的な項目】(全国平均との差)

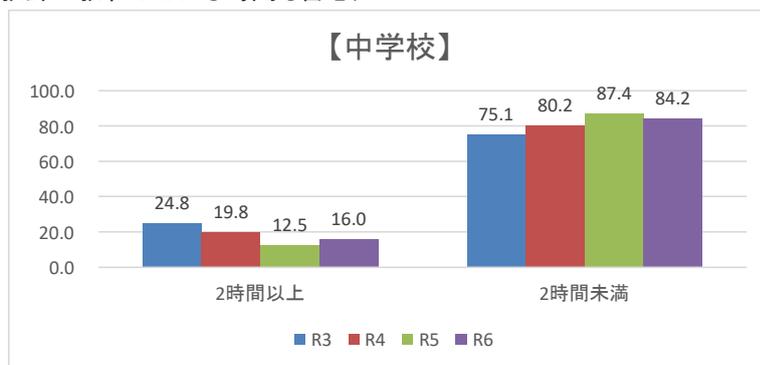
| | |
|-----|---|
| 中学校 | 肯定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異が見られるもの) |
| | ◎数学の授業はよく分かりますか。(+9.8) |
| | ◎1,2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができましたか。(+7.1) |
| | ◎1,2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができる。(+6.0) |
| | 否定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの) |
| | ◎自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだすことがありますか。(-8.1) |
| | ◎1,2年生までに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。(-5.7) |
| | ◎困りごとや不安がある時に先生や学校における大人にいつでも相談できますか。(-7.1) |

【学校・地域・家庭に関わる項目】(過去4年の経年比較、ICT機器活用についてはR4年度より3年間)

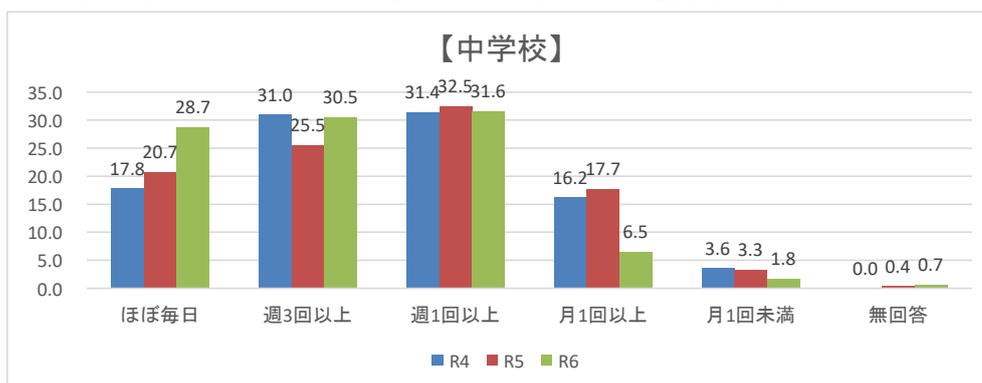
○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(～R4)地域や社会をよくするために何かしてみたいとおもいますか(R5～)



○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



○1,2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



3 今後の取組

安来市の各小・中学校では、児童・生徒の学力向上を目指し、授業改善はもとより、授業時間以外でも様々な活動に取り組んでいます。安来市教育委員会としましては、全国学力・学習状況調査を分析し、さらに学校訪問や各校の授業研究会などの取組の成果や課題を考察した上で、今後の各校の学力向上に向けた具体的な改善の取組を支援していきます。

また、学習習慣や生活習慣の確立が学力の定着に極めて重要であることに鑑み、今後さらに学校と家庭とが連携する取組や保育所園・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が連携する取組を支援していきます。

<各学校において大切にしていること>

(1) 授業の質の充実

全国学力・学習状況調査等の各種調査の分析を参考にし、各教科等の連携を図りながら組織的かつ計画的に授業の質の充実を図っていくことを大切にしています。

○単元や1時間の授業のねらいとする資質・能力を明確にするとともに、それを達成した児童・生徒の具体的な姿を設定した授業づくりに取り組むこと。

○自分の考えを最後までしっかりと話すこと(説明すること)、書くことを繰り返し丁寧に指導にあたること。

○話し合いの場面では、目的を明確にして児童生徒に示すとともに、議題や手順、ツールなどを具体的に指導にあたること。

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、「考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童生徒同士がやり取りする場面」「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」などで1人1台端末の日常的かつ効果的な活用を一層進めていくこと。

○課題の見られた問題について各校で分析し、該当の単元あるいは領域等について授業改善に取り組むこと。授業改善の取組にあたっては、具体的な子どもの姿で取組の改善状況を把握すること。

(2) 家庭学習の充実

家庭学習と授業との有機的な結びつきを図るとともに、児童生徒が自分に合った学習方法を見いだすことができるよう、教員の指導改善や児童生徒の学習改善を行うことを大切にしています。

○「授業と往還する家庭学習の工夫」の推進を図り、家庭学習の目的や家庭学習の有用さを、児童生徒自身が実感できるような家庭学習とつながる授業づくりの工夫を考えること。

○学習内容を定着させる宿題に取り組むだけでなく、学習計画を立て、計画に基づいて学習を実行する力を育むとともに、1人1台端末を使ったAIドリル等の試行による家庭学習の質と量の充実をめざすこと。

(3) 地域に関わる学習の充実

児童生徒一人一人が自ら課題を見つけ、解決への道筋を見通しながら様々な解決方法を考える姿勢を育成することを大切にしています。

○体験活動などをおした【課題の設定】【情報の収集】【整理・分析】【まとめ・表現】といった探究的な学習活動となるような単元計画を行い、児童生徒の思考の流れに沿った探究活動が行われるよう工夫を図ること。

○地域素材の効果的な活用と、各教科等で身に付けた知識や技能を地域や社会での実生活に生かそうとする意欲の醸成を行っていくこと。

〈家庭、地域で大切にしていきたいこと〉

◎ 家庭へのお願い

児童・生徒の学力の定着を図るために、以下のような取組をお願いします。

○ 基本的な生活習慣を身につけさせましょう。

・ あいさつや食事、睡眠、起床時間など規則正しいリズムを身につけると、児童・生徒の本来持っている力が高まります。

○ 家庭で主体的に学習する習慣を身につけさせましょう。

(各学校で配布されている家庭学習の手引きが参考になります。)

・ 日々、家庭で学習すること(宿題や予習などの学習を大切にすること)は、基礎学力の定着や学力向上には不可欠です。学校では、授業と家庭学習をつなげた取組がなされています。

○ 家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう。

・ 学校での出来事や、テレビのニュース番組を見たり、新聞を読んだりして気づいたことなどを話題にしましょう。世の中のしくみや場所を知ることにつながり、語彙も増えます。

○ 日常生活の中で社会のルールやマナーを身につけさせましょう。

・ お手伝いを通して自分の役割の大切さを感じ、責任感をもつことができます。
・ 思いやりの心や社会性などを育むことができます。

○ 読書に親しむ経験を豊かにしましょう。

・ 本に親しむ経験は、学習の基盤につながります。
・ 家で読み聞かせをしたり、一緒に読書をしたりするなど、家庭での読書の機会をさらに増やしましょう。

○ 地域の行事に積極的に参加したり、郷土の自然や文化にふれる体験をしたりしましょう。

・ ふるさとへの理解を深め、ふるさとを愛する心が育まれます。
・ 地域の人との温かなふれ合いが、規範意識、コミュニケーション力、自尊感情を高めます。

◎ 地域の皆様へのお願い

・ 児童生徒質問紙において、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と解答した児童生徒の割合が8割近くに上ることは、本市の大きな強みであると言えます。これは、本市が進めているふるさと教育に対して、地域の皆様のご協力をいただいている賜物と考えています。

・ ふるさと教育については、今後もより充実したものになるよう取り組んでいきますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。